

別紙資料1

令和2年10月12日  
第2回高知市  
高齢者保健福祉計画推進協議会  
健康福祉部 高齢者支援課

# 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の 結果について

# 1. 調査の概要

## 調査対象

65歳以上の要介護1～5の方以外の市民5000人を無作為抽出。  
 圏域別の調査票送付数は以下のとおり。

圏域	65歳以上		調査対象者	
	人口	構成比	対象者数	構成比
1 秦・土佐山	5,151	5.33%	301	6.02%
2 布師田・一宮	7,299	7.56%	429	8.58%
3 下知・五台山・高須	7,399	7.66%	325	6.50%
4 大津・介良	6,044	6.26%	361	7.22%
5 三里	4,096	4.24%	181	3.62%
6 南街・北街・江ノ口	7,479	7.75%	369	7.38%
7 初月・鏡	4,561	4.72%	269	5.38%
8 朝倉	7,959	8.24%	358	7.16%
9 旭街	10,837	11.22%	620	12.40%
10 上街・高知街・小高坂	5,634	5.83%	280	5.60%
11 鴨田	7,577	7.85%	374	7.48%
12 潮江	8,152	8.44%	403	8.06%
13 長浜・御畳瀬・浦戸	9,099	9.42%	511	10.22%
14 春野	5,295	5.48%	219	4.38%
合計	96,582	100.00%	5,000	100.00%

前回調査（H29）は、3,720人を対象に調査

## (2) 調査方法

郵送配布 — 郵送回収によるアンケート調査により実施

## (3) 調査実施期間

令和2年6月5日～6月26日

## (4) 回収状況

有効回答数 : 2,823人  
 有効回答率 : 56.47%

- ・ 標本数が4,999人なのは、対象者抽出から調査票発送までの間に、異動または死亡した対象者を除いているため。
- ・ 無効回答の1人は未記載。
- ・ 有効回答率は、前回調査（H29）から15.87%減少。  
 ⇒ 65～69歳の方の回答の減少が大きい。

## (5) 調査票記入者

項目	今回調査		前回調査
	回答者数	構成比	構成比
本人	2,108	74.7%	78.2%
家族	625	22.1%	17.4%
配偶者	469	16.6%	69.2%
子	114	4.0%	20.5%
孫	4	0.1%	1.5%
上記以外	27	1.0%	7.5%
無回答	11	0.4%	1.3%
その他	15	0.5%	0.2%
無回答	75	2.7%	4.2%
合計	2,823	100.0%	100.00%

項目		今回調査	前回調査
標本数 (A)		4,999 人	3,720 人
総回答数 (B)		2,824 人	2,700 人
有効回答数 (C)		2,823 人	2,691 人
性別	男性	1,259 人	1,126 人
	女性	1,560 人	1,500 人
	無回答	4 人	65 人
年齢別	65-69	631 人	846 人
	70-74	807 人	624 人
	75-79	596 人	489 人
	80-84	421 人	380 人
	85-90	249 人	222 人
	90以上	106 人	76 人
	無回答	13 人	54 人
介護度	認定を受けていない	2,506 人	2,416 人
	事業対象者	16 人	
	要支援1	137 人	113 人
	要支援2	83 人	74 人
	無回答	81 人	88 人
無効回答数		1 人	9 人
回答率 (B/A)		56.49 %	72.58 %
有効回答率 (C/A)		56.47 %	72.34 %

## 2. 調査結果

### 1. 家族や生活状況について

#### (1) 回答者の属性(年齢層・男女・圏域・介護度・家族構成)

項目	1人暮らし		夫婦2人				子と2世帯		その他		合計	割合	
			配偶者 65歳以上		配偶者 65歳未満								
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比			
今回調査	696	24.7%	1,116	39.5%	127	4.5%	393	13.9%	433	15.3%	2,823	100.0%	
前回調査	636	23.6%	1,041	38.7%	111	4.1%	344	12.8%	511	19.0%	2,691	100.0%	
年齢層別	65～69	116	18.4%	228	36.1%	73	11.6%	70	11.1%	130	20.6%	631	22.4%
	70～74	167	20.7%	361	44.7%	31	3.8%	107	13.3%	127	15.7%	807	28.6%
	75～79	156	26.2%	249	41.8%	13	2.2%	84	14.1%	82	13.8%	596	21.1%
	80～84	109	25.9%	182	43.2%	4	1.0%	75	17.8%	42	10.0%	421	14.9%
	85～89	96	38.6%	71	28.5%	4	1.6%	35	14.1%	37	14.9%	249	8.8%
90～	49	46.2%	21	19.8%	2	1.9%	18	17.0%	14	13.2%	106	3.8%	
性別	男性	205	16.3%	588	46.7%	114	9.1%	138	11.0%	191	15.2%	1,259	44.6%
	女性	491	31.5%	525	33.7%	13	0.8%	255	16.3%	242	15.5%	1,560	55.3%
圏域	秦・土佐山	45	25.7%	73	41.7%	3	1.7%	30	17.1%	19	10.9%	175	6.2%
	一宮・布師田	46	20.8%	84	38.0%	16	7.2%	35	15.8%	34	15.4%	221	7.8%
	下知・五台山・高須	34	21.0%	66	40.7%	3	1.9%	24	14.8%	31	19.1%	162	5.7%
	大津・介良	43	20.6%	102	48.8%	8	3.8%	23	11.0%	27	12.9%	209	7.4%
	三里	23	22.5%	40	39.2%	2	2.0%	18	17.6%	18	17.6%	102	3.6%
	南街・北街・江ノ口	75	36.8%	57	27.9%	10	4.9%	23	11.3%	34	16.7%	204	7.2%
	初月・鏡	28	18.8%	58	38.9%	6	4.0%	29	19.5%	25	16.8%	149	5.3%
	朝倉	40	20.6%	90	46.4%	8	4.1%	19	9.8%	35	18.0%	194	6.9%
	旭街	82	23.1%	133	37.5%	22	6.2%	58	16.3%	55	15.5%	355	12.6%
	上街・高知街・小高坂	52	33.3%	48	30.8%	9	5.8%	16	10.3%	29	18.6%	156	5.5%
	鴨田	58	27.4%	95	44.8%	11	5.2%	22	10.4%	25	11.8%	212	7.5%
	潮江	76	38.4%	68	34.3%	5	2.5%	24	12.1%	21	10.6%	198	7.0%
長浜・御畳瀬・浦戸	58	20.5%	113	39.9%	15	5.3%	34	12.0%	55	19.4%	283	10.0%	
春野	20	16.7%	58	48.3%	4	3.3%	19	15.8%	17	14.2%	120	4.3%	
介護度	認定を受けていない	566	22.6%	1,033	41.2%	118	4.7%	349	13.9%	392	15.6%	2,506	88.8%
	事業対象者	2	12.5%	8	50.0%	2	12.5%	2	12.5%	2	12.5%	16	0.6%
	要支援1	69	50.4%	30	21.9%	2	1.5%	16	11.7%	17	12.4%	137	4.9%
	要支援2	33	39.8%	21	25.3%	1	1.2%	18	21.7%	9	10.8%	83	2.9%

#### 【家族構成について】

<全般的事項>  
 ・家族構成に関して、前回調査からの変化はほぼなし。(若干1人暮らしの方が増加。)

<年齢別>  
 ・年齢が高いほど1人暮らしの割合が多い。  
 (90歳以上では、約半数が1人暮らし。)

<男女別>  
 ・男性より女性の1人暮らしの割合が高い。

<圏域別>  
 ・中心市街地で1人暮らしの割合が高い。  
 (南街・北街・江ノ口, 上街, 高知街・小高坂)

<介護度別>  
 ・要支援1・2の方の1人暮らしの割合が高いが、回答者の約9割は介護認定を受けていない方であり、要支援者の数が少なく、全体の傾向として見るのかは要検討。

## 2. 調査結果

### (2) 外出について

項目	① 週に1回以上は外出していますか。								② 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。								③ 外出を控えていますか。											
	ほとんど外出しない		週1回		週2~4回		週5回以上		とても減っている		減っている		あまり減っていない		減っていない		はい		いいえ									
	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比								
今回調査	195	6.9%	318	11.3%	1,091	38.6%	1,184	41.9%	167	5.9%	904	32.0%	838	29.7%	883	31.3%	1,192	42.2%	1,584	56.1%								
前回調査	171	6.4%	276	10.3%	909	33.8%	1,296	48.2%	105	3.9%	516	19.2%	925	34.4%	1,109	41.2%	498	18.5%	2,163	80.4%								
性別	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性									
年齢別	65-69		70-74		75-79		80-84		85-89		90以上		65-69		70-74		75-79		80-84		85-89		90以上					
圏域別	秦・土佐山		布師田・一宮		下知・五台山・高須		大津・介良		三里		南街・北街・江ノ口		初月・鏡		朝倉		旭街		上街・高知街・小高坂		鵬田		潮江		長浜・御置瀬・浦戸		春野	

#### ① 週に1回以上は外出していますか。

【全般的事項】 全体的な傾向は前回調査と同様。  
 <男女別> 女性より男性の方が外出頻度が多い。  
 <年齢別> 年齢が上がると外出頻度が下がる。  
 <圏域別>  
 ・初月・鏡：「ほとんど外出しない」の割合が最も低く、「週5回以上外出する」の割合が最も高い。  
 ・大津・介良：「ほとんど外出しない」の割合が比較的高く、「週5回以上外出する」の割合も比較的低い。  
 ・春野：「ほとんど外出しない」の割合が最も高いが、「週5回以上外出する」の割合も高い。

#### ② 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

【全般的事項】 前回調査と比べて、「とても減っている」が2.0%、「減っている」が12.8%上昇しており、新型コロナウイルスの影響が考えられる。  
 <男女別> 上記の傾向は、男性より女性のほうが強い。  
 <年齢別> 年齢が上がると外出が減っている人の割合が上がる。  
 <圏域別>  
 ・初月・鏡：外出が減った人の割合が少ない。  
 ・大津・介良：①では、外出しない人の割合が高かったが、昨年との比較で外出が減った人は少ない。  
 ・三里：「とても減っている」人の割合が1割弱で最も高い。

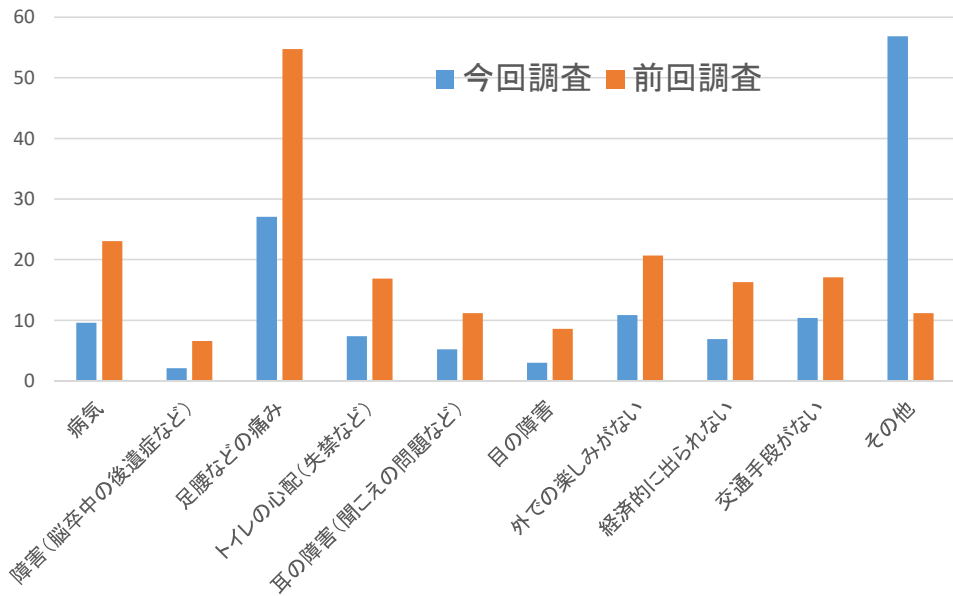
#### ③ 外出を控えていますか。

【全般的事項】 前回調査と比べて「外出を控えている」人の割合が、新型コロナウイルスの影響で大幅に上昇。（+23.7%）  
 <男女別> 上記の傾向は、男性より女性のほうが強い。  
 <年齢別> 年齢が上がると外出を控えている人の割合が上がる。  
 <圏域別>  
 ・初月・鏡：外出を控えている人の割合が最も低い。  
 ・布師田・一宮、三里：外出を控えている人の割合が約5割

## 2. 調査結果

### (3) 外出を控えている理由

※回答は複数選択



#### 【全般的事項】

- ・その他の理由の割合が大幅に上昇。(11.2% ⇒ 56.9%)
- ・その他の理由以外の項目はすべて前回調査より減少。
- ・その他の約9割は、新型コロナウイルス対策。

#### 〈男女別〉

- ・男女とも傾向は同じ。

#### 〈年齢別〉

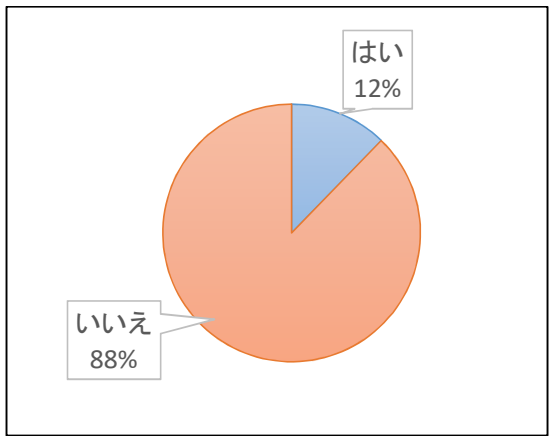
- ・若い人は「楽しみ」や「経済的状況」の割合が高い傾向。
- ・80歳以上は、足腰などの痛みの割合が高い。

項目	病気		障害		足腰		トイレ		耳		目		楽しみ		経済的		交通	
	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比	回答者	構成比
男女別																		
男	47	7.5%	17	2.7%	113	18.1%	38	6.1%	33	5.3%	18	2.9%	66	10.6%	25	4.0%	34	5.4%
女	68	6.6%	8	0.8%	210	20.2%	50	4.8%	29	2.8%	18	1.7%	64	6.2%	57	5.5%	90	8.7%
年齢別																		
65-69	10	3.3%	2	0.7%	26	8.6%	9	3.0%	4	1.3%	3	1.0%	25	8.2%	17	5.6%	7	2.3%
70-74	23	6.0%	7	1.8%	45	11.8%	16	4.2%	4	1.0%	6	1.6%	27	7.1%	17	4.5%	16	4.2%
75-79	23	7.0%	5	1.5%	64	19.4%	22	6.7%	17	5.2%	5	1.5%	29	8.8%	19	5.8%	29	8.8%
80-84	32	10.4%	8	2.6%	79	25.6%	18	5.8%	14	4.5%	9	2.9%	24	7.8%	19	6.1%	33	10.7%
85-89	16	7.3%	2	0.9%	72	32.7%	17	7.7%	13	5.9%	8	3.6%	14	6.4%	7	3.2%	26	11.8%
90以上	10	8.9%	1	0.9%	36	32.1%	6	5.4%	10	8.9%	5	4.5%	10	8.9%	2	1.8%	13	11.6%
圏域別																		
秦・土佐山	10	12.2%	1	1.2%	15	18.3%	6	7.3%	2	2.4%	2	2.4%	6	7.3%	4	4.9%	3	3.7%
布師田・一宮	11	7.4%	3	2.0%	27	18.2%	5	3.4%	5	3.4%	1	0.7%	12	8.1%	13	8.8%	13	8.8%
下知・五台山・高須	12	11.4%	2	1.9%	19	18.1%	6	5.7%	4	3.8%	4	3.8%	8	7.6%	5	4.8%	7	6.7%
大津・介良	3	2.8%	2	1.9%	22	20.8%	4	3.8%	1	0.9%	3	2.8%	10	9.4%	3	2.8%	10	9.4%
三里	4	4.8%	1	1.2%	18	21.7%	12	14.5%	6	7.2%	2	2.4%	5	6.0%	4	4.8%	8	9.6%
南街・北街・江ノ口	3	2.7%		0.0%	24	21.2%	7	6.2%	5	4.4%	2	1.8%	7	6.2%	3	2.7%	7	6.2%
初月・鏡	5	7.5%		0.0%	17	25.4%		0.0%	3	4.5%		0.0%	4	6.0%	3	4.5%	6	9.0%
朝倉	9	7.7%		0.0%	19	16.2%	8	6.8%	5	4.3%	2	1.7%	10	8.5%	6	5.1%	8	6.8%
加街	16	7.4%	8	3.7%	45	20.8%	8	3.7%	4	1.9%	2	0.9%	9	4.2%	9	4.2%	18	8.3%
上街・高知街・小高坂	7	9.6%	1	1.4%	12	16.4%	4	5.5%	1	1.4%	2	2.7%	7	9.6%	4	5.5%	2	2.7%
鴨田	8	6.8%	1	0.9%	22	18.8%	4	5.1%	2	1.7%	3	2.6%	11	9.4%	4	3.4%	10	8.5%
潮江	5	4.0%	2	1.6%	29	23.2%	8	6.4%	3	2.4%	2	1.6%	11	8.8%	5	4.0%	7	5.6%
長浜・御畳瀬・浦戸	13	6.7%	2	1.0%	34	17.4%	10	5.1%	14	7.2%	9	4.6%	19	9.7%	11	5.6%	14	7.2%
春野	3	4.9%		0.0%	11	18.0%	2	3.3%	4	6.6%	1	1.6%	6	9.8%	2	3.3%	5	8.2%

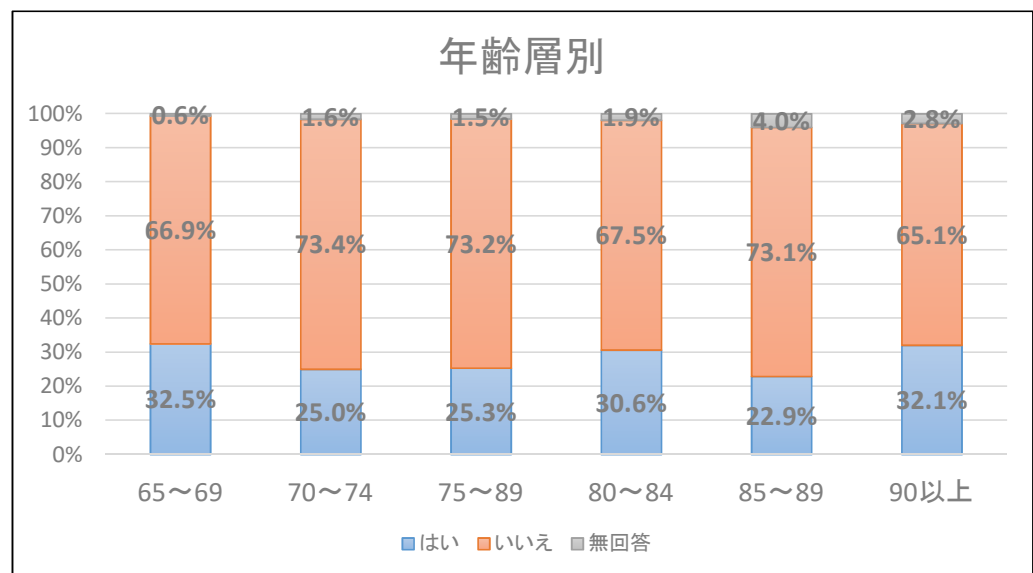
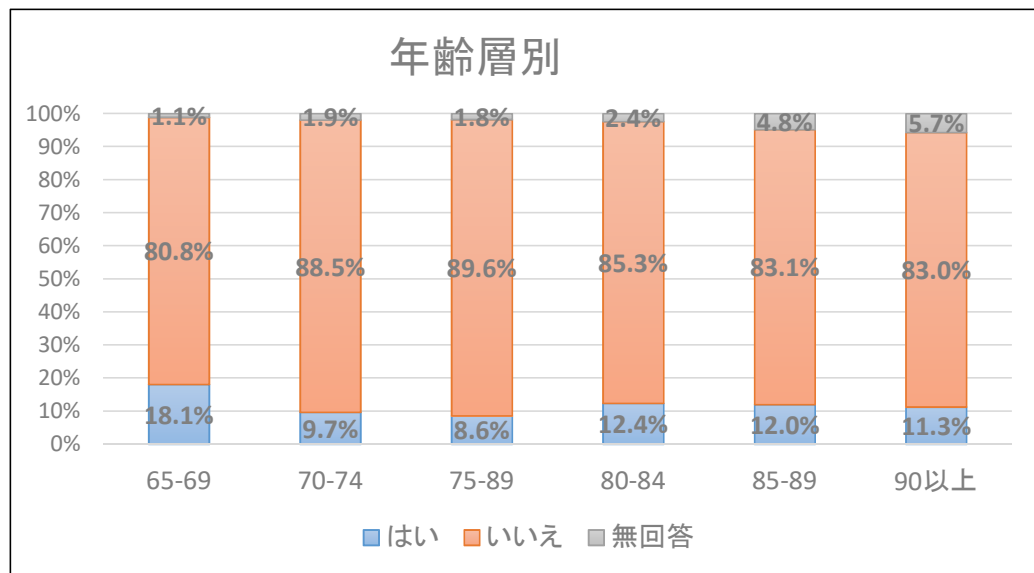
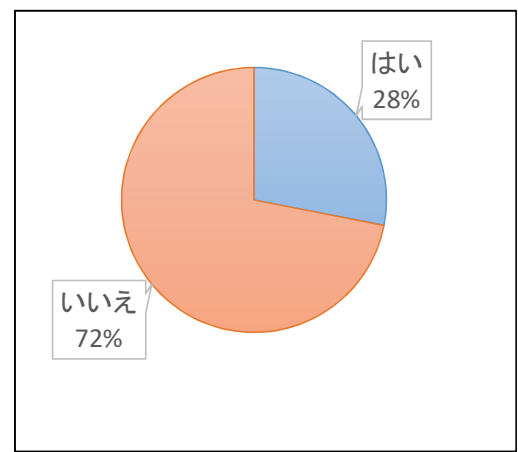
## 2. 調査結果

### 2. 認知症にかかる相談窓口の把握について

①認知症の症状のある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。



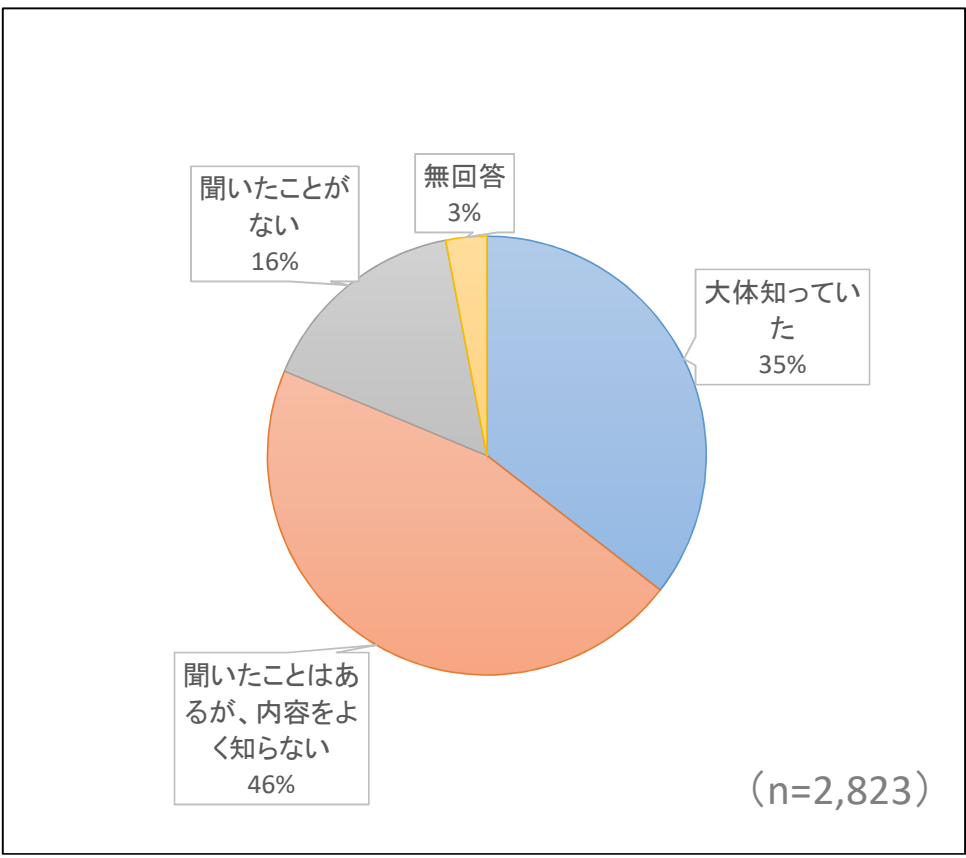
②認知症に関する相談窓口を知っていますか。  
(国調査項目新設)



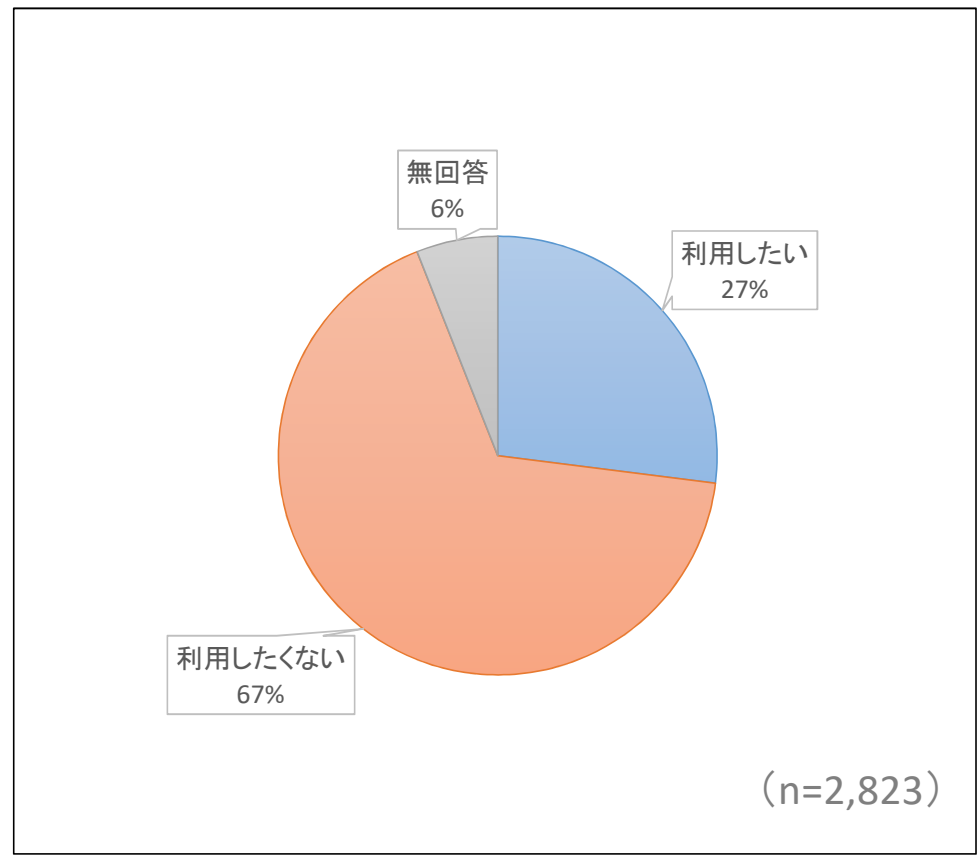
## 2. 調査結果

### 3. 成年後見制度について(高知市独自調査追加項目)

①成年後見制度を知っていましたか。

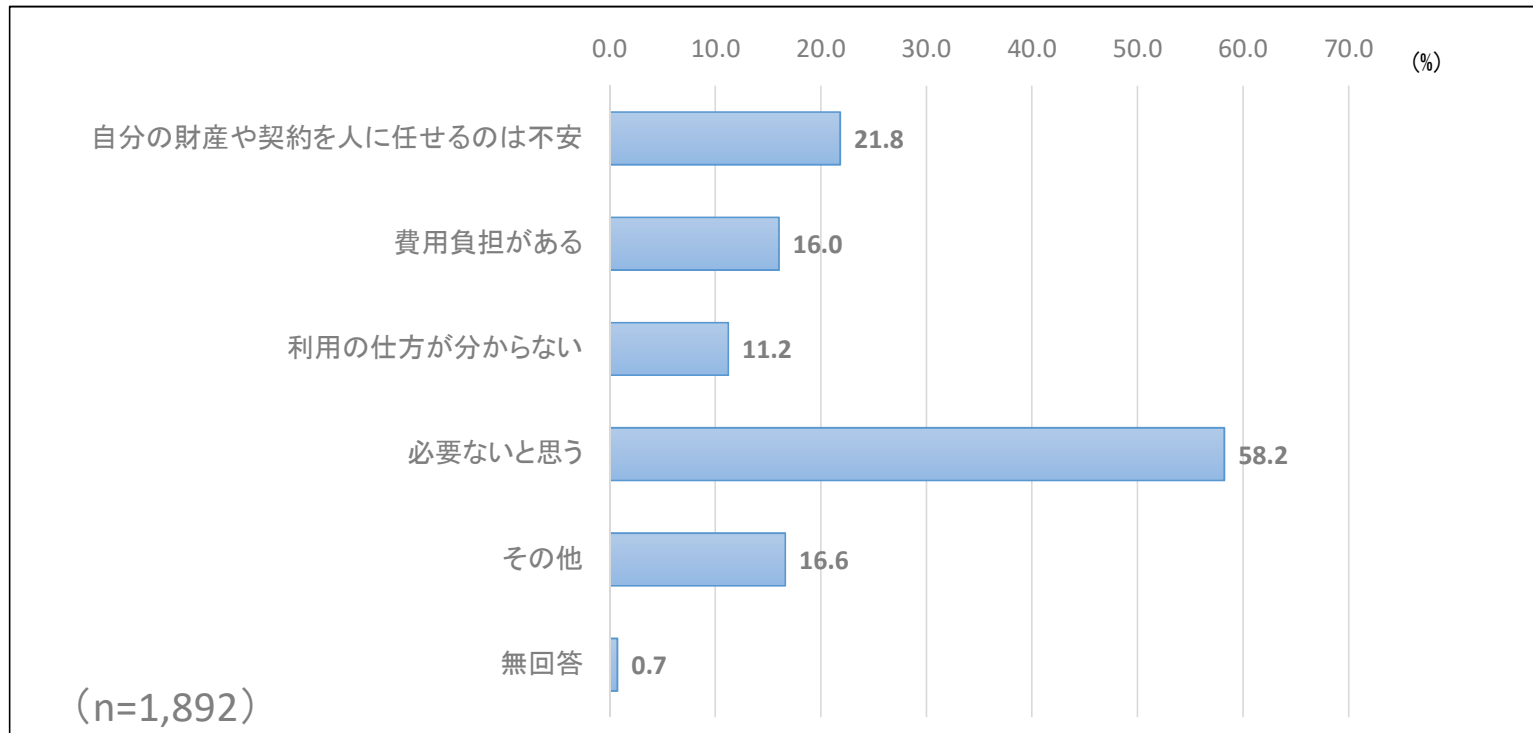


②今後、自分の判断力に自信が持てなくなった場合、制度を利用したいと思いませんか。



## 2. 調査結果

②③で「2. 利用したくない」と答えた方にお聞きします。利用したくない理由は何ですか。(複数回答)



その他の具体的な回答は以下のとおり

- ・子どもに任せる
- ・子どもがいるから
- ・家族がいるから、家族に任せる
- ・財産がないから などが多く聞かれた。

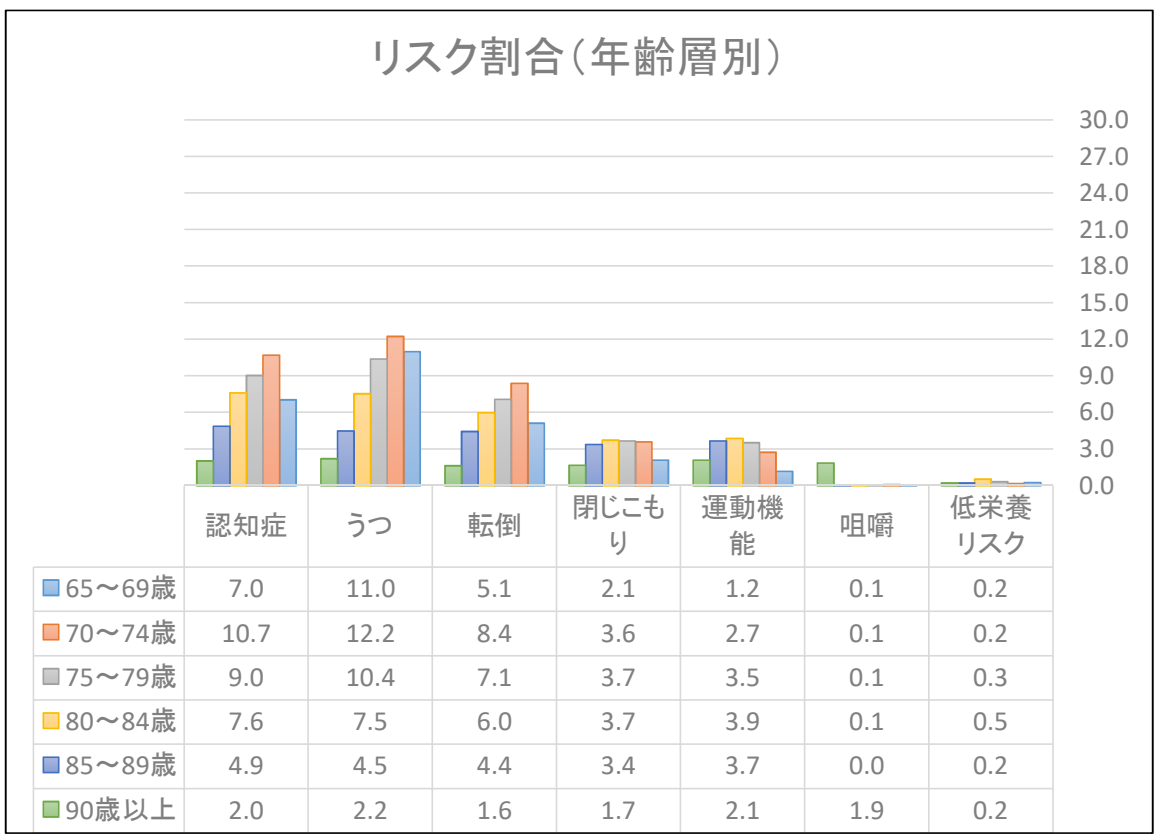
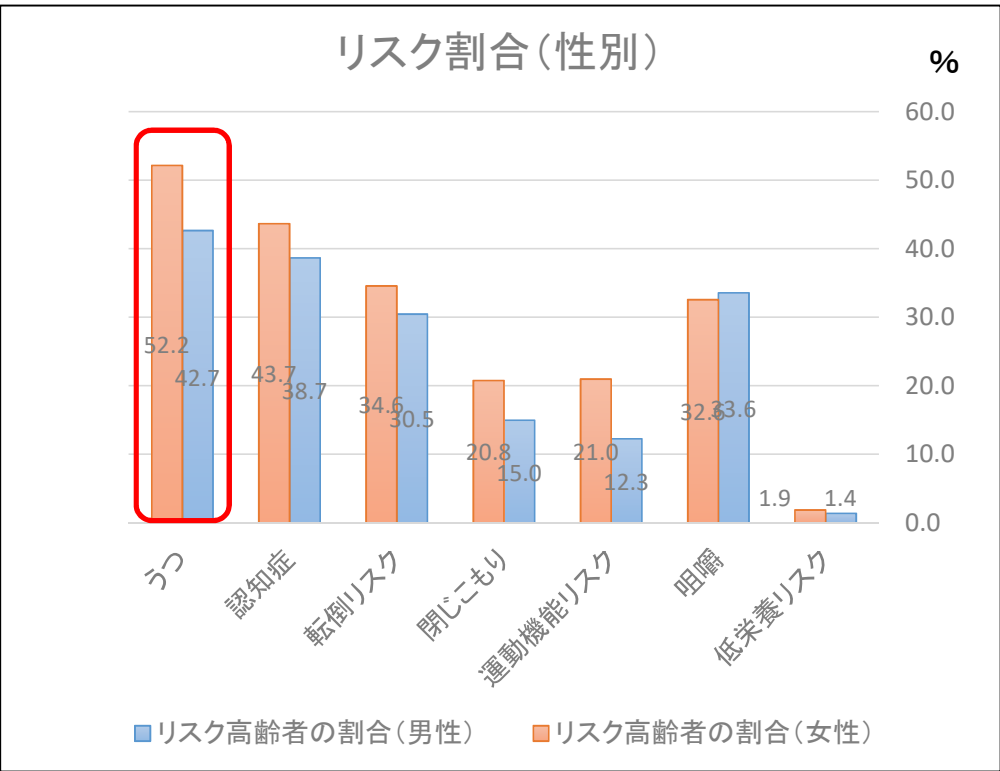


### 3. 調査結果の特徴的な傾向

#### 2. リスク割合について

リスク割合は、前回調査と同様、うつリスクの割合が最も高く、次いで認知症リスクが高い傾向あり。うつリスクは年齢が低いほど高い傾向がある。低栄養リスクについては、男女ともに最も低い。

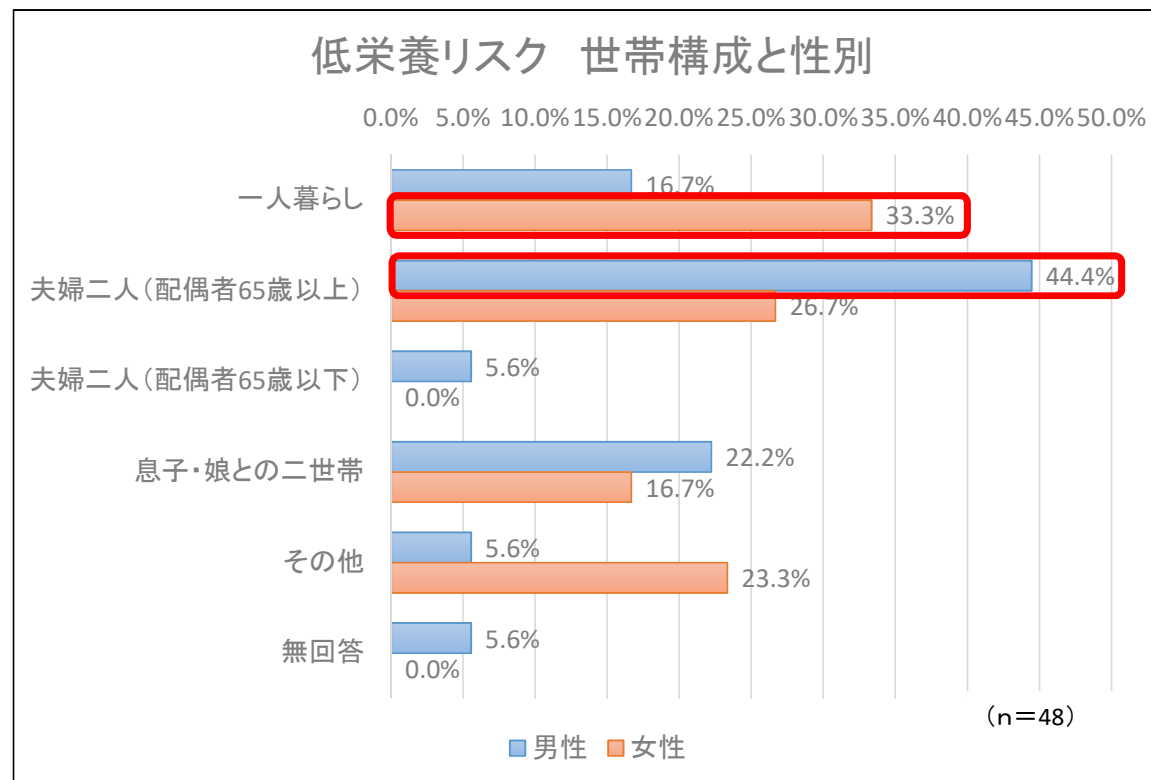
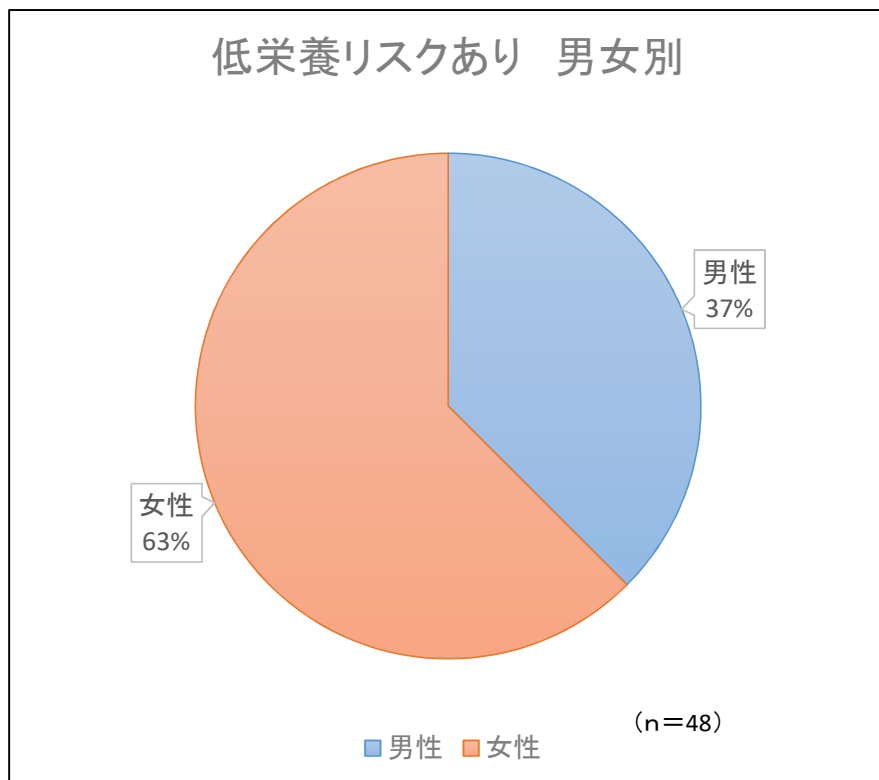
%



### 3. 調査結果の特徴的な傾向

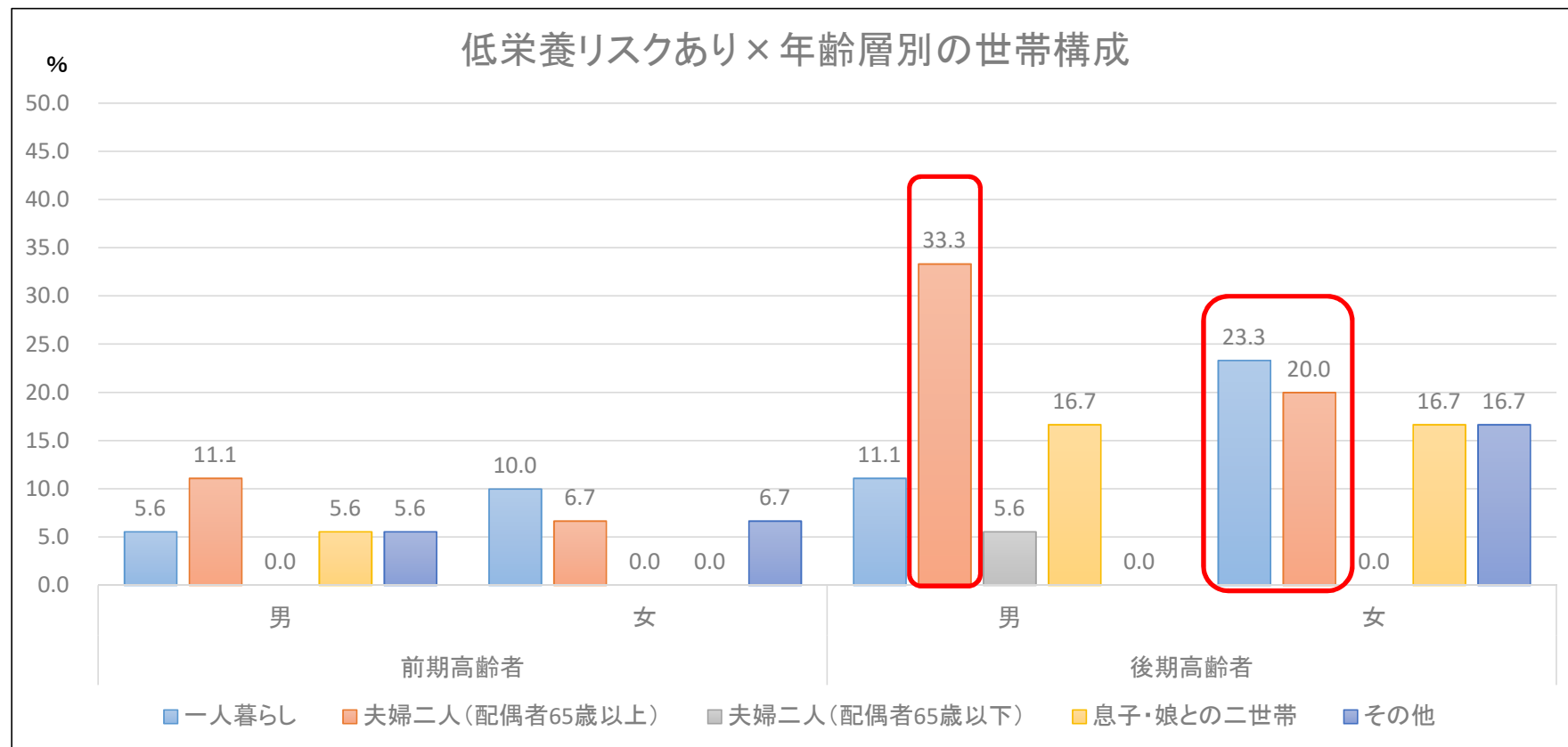
#### (1) 低栄養リスクについて

低栄養リスクについて、今回の調査でリスクありの方は48名(全体の構成比1.7%)と低かった。しかし、低栄養リスクの男女別について女性が6割以上。低栄養リスクの性別と世帯構成の割合でみた場合、女性は独居生活の方が多く、男性は夫婦二人暮らしで配偶者が65歳以上の世帯が多い。



### 3. 調査結果の特徴的な傾向

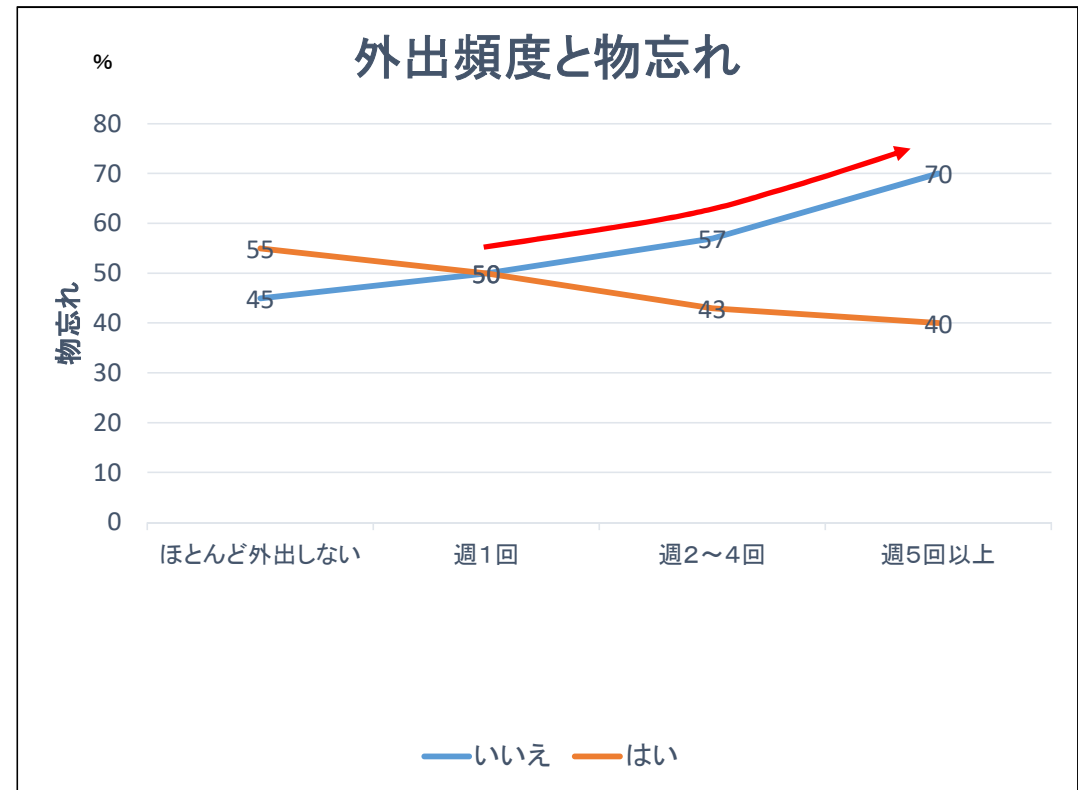
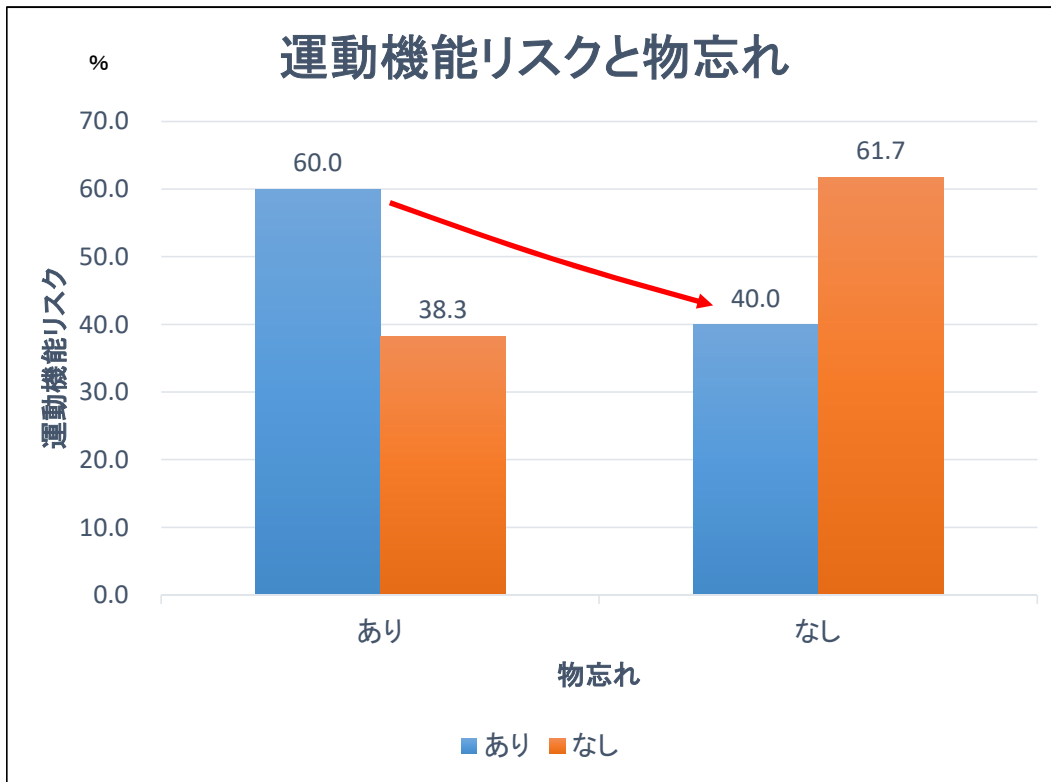
低栄養リスクあり(48名)のうち、年齢層別の世帯構成をみると、男性は、後期高齢者で夫婦二人(配偶者65歳以上)の世帯構成が33.3%と最も多い。女性は、後期高齢者で一人暮らしもしくは、夫婦二人世帯で配偶者が65歳以上の世帯の方の割合が高い傾向あり。



### 3. 調査結果の特徴的な傾向

#### (2) 物忘れリスクと運動・外出の関連性について

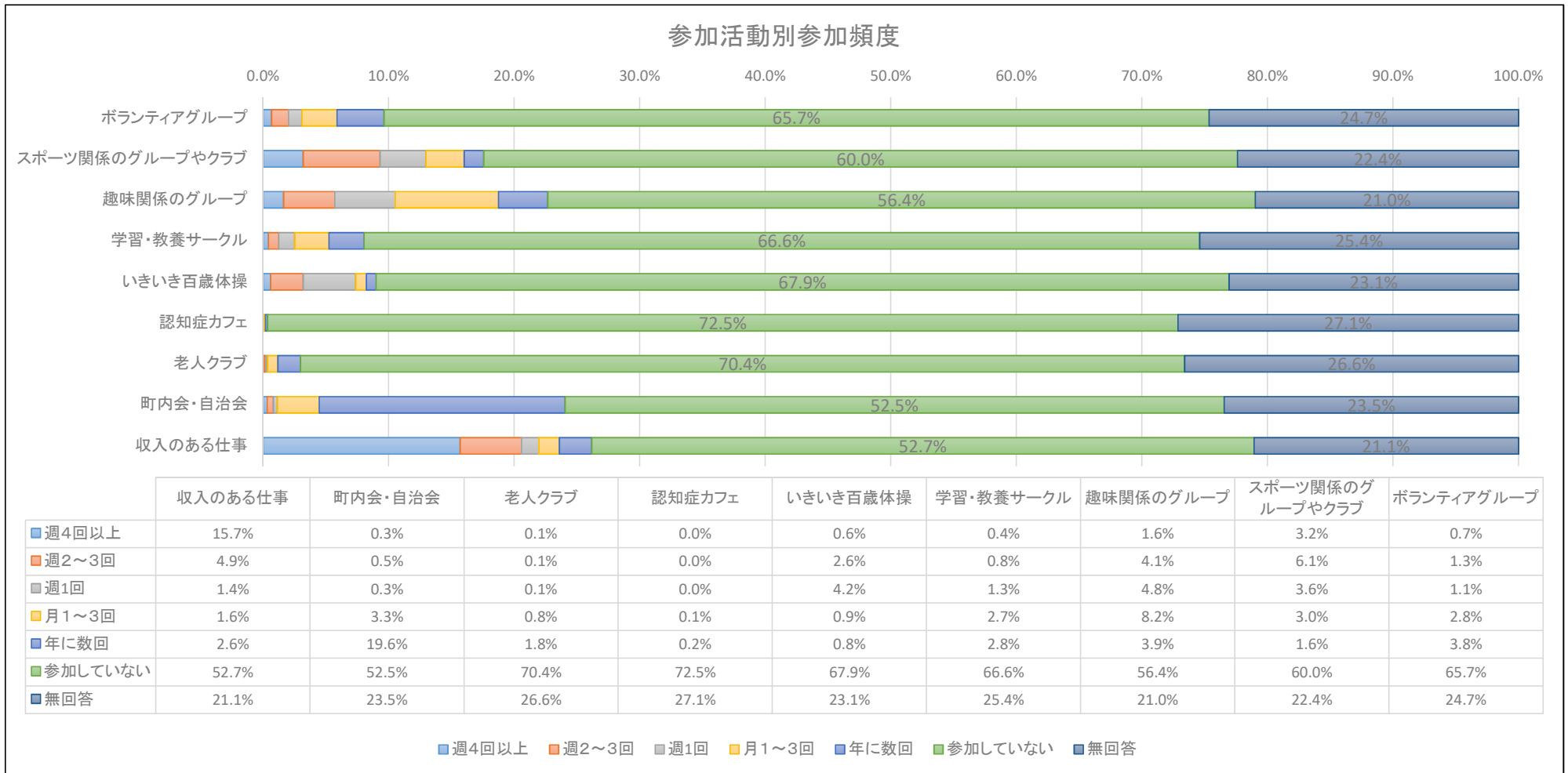
運動機能リスクがある方は物忘れが多いと感じると回答した方が6割。  
また、外出頻度が多い人ほど物忘れが多いと感じていないと回答。



### 3. 調査結果の特徴的な傾向

#### 3.地域活動の参加状況等による特徴

地域活動で最も多いのは収入のある仕事への参加頻度が週4回以上の15.7%。全体で見ると参加していない人の割合が7割から9割をしめている。

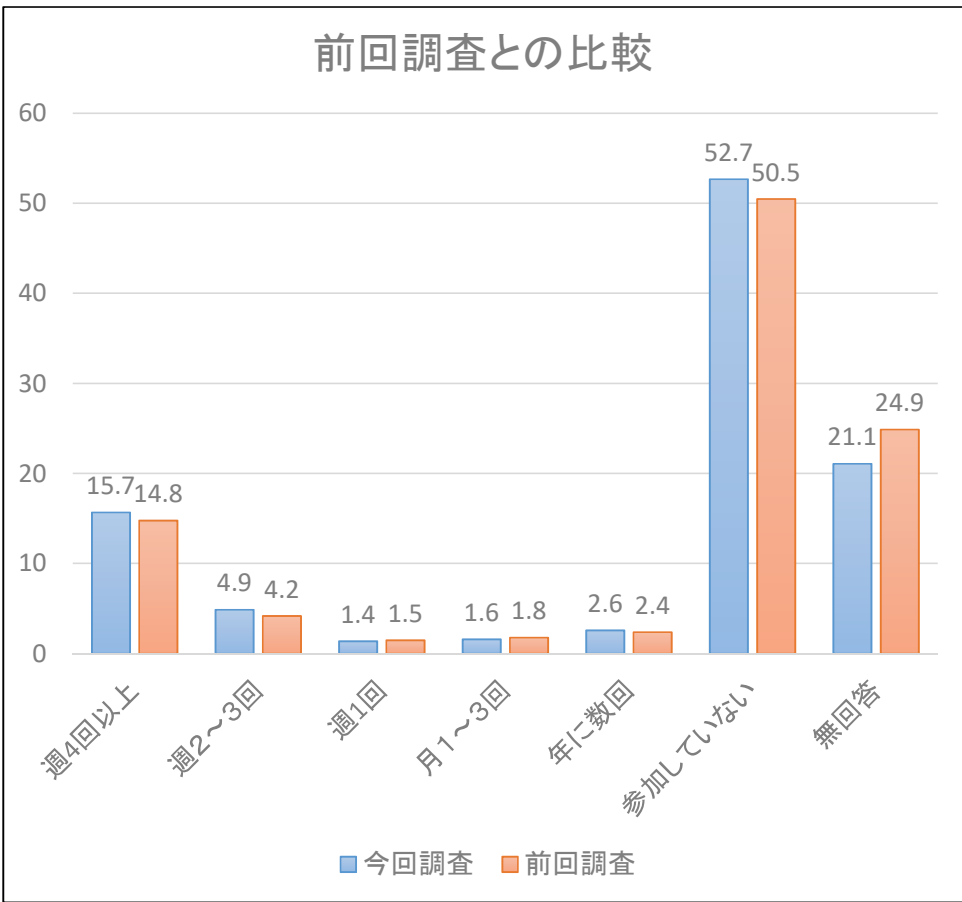


### 3. 調査結果の特徴的な傾向

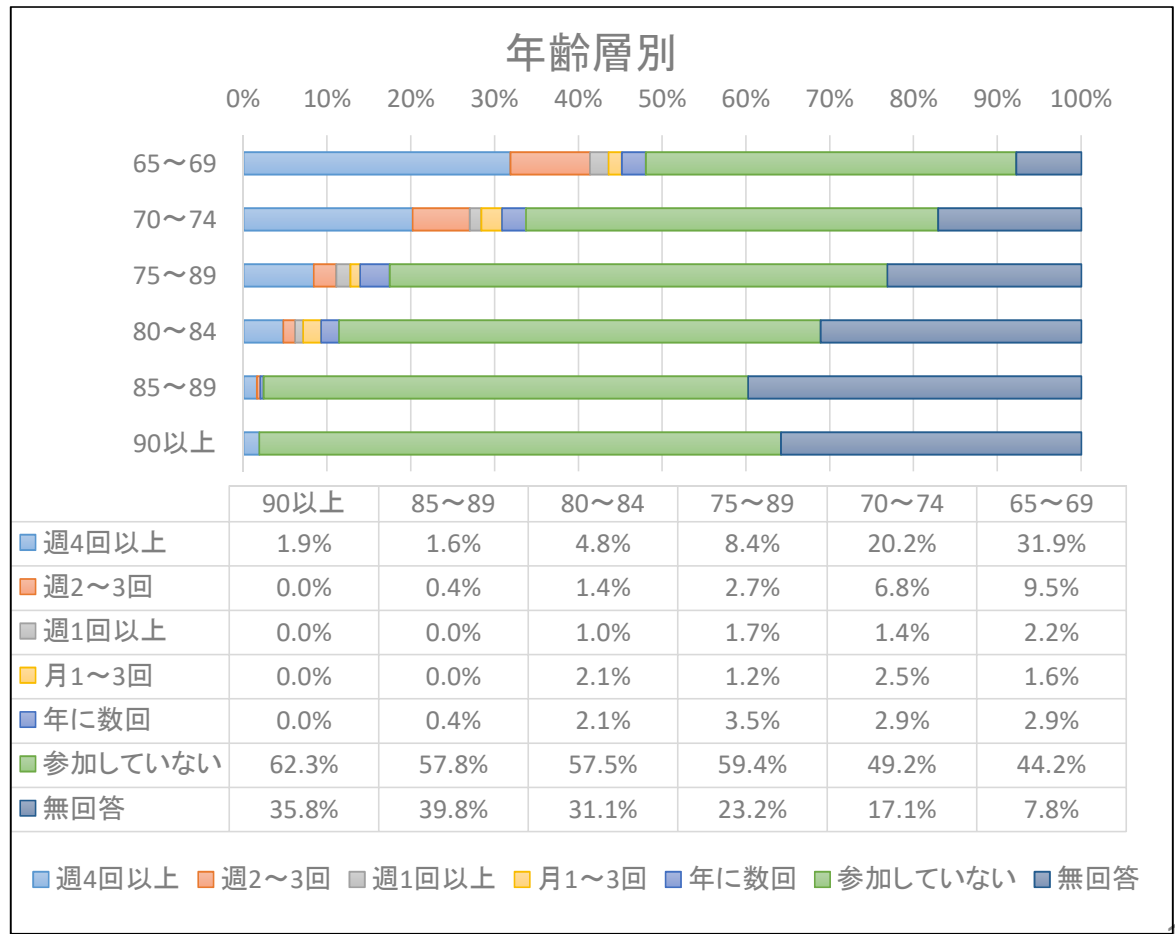
#### (1) 収入ある仕事への参加

収入ある仕事への参加率は、前回調査と大きな差はない。年齢層別では、参加していない人の割合を除き、65～69歳の週4回以上の方が31.9%と最も多い。

前回調査との比較

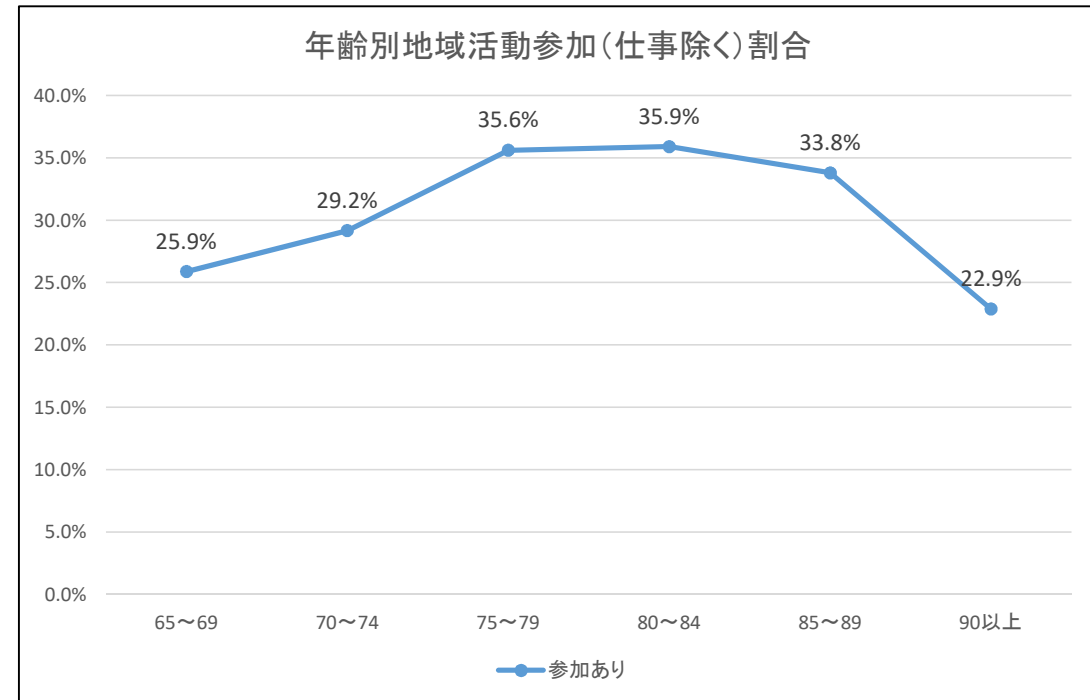
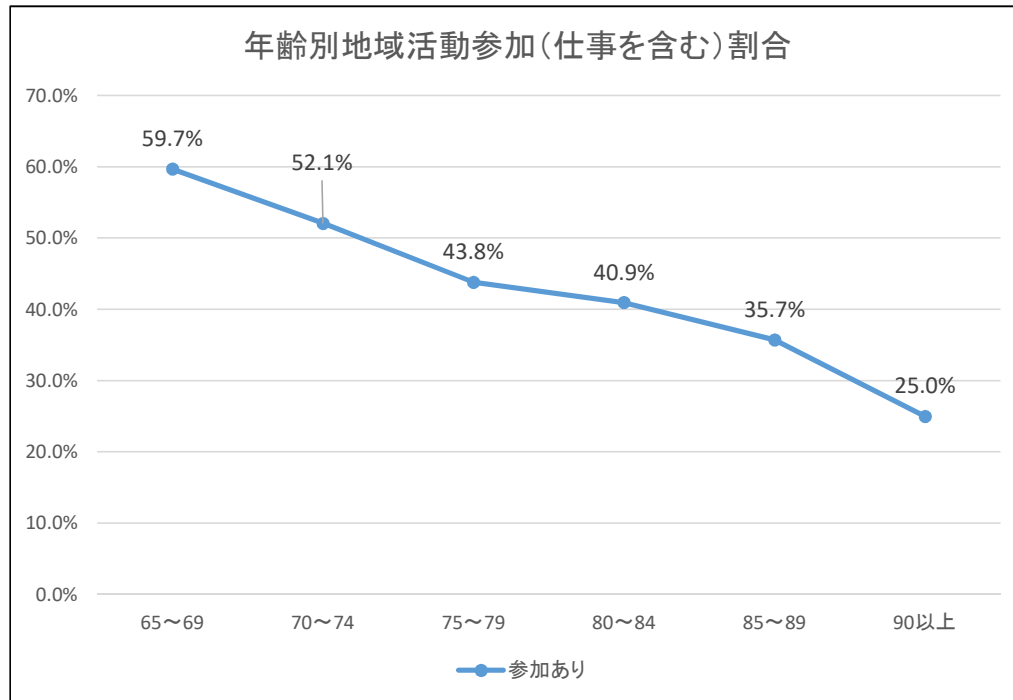


年齢層別



### 3. 調査結果の特徴的な傾向

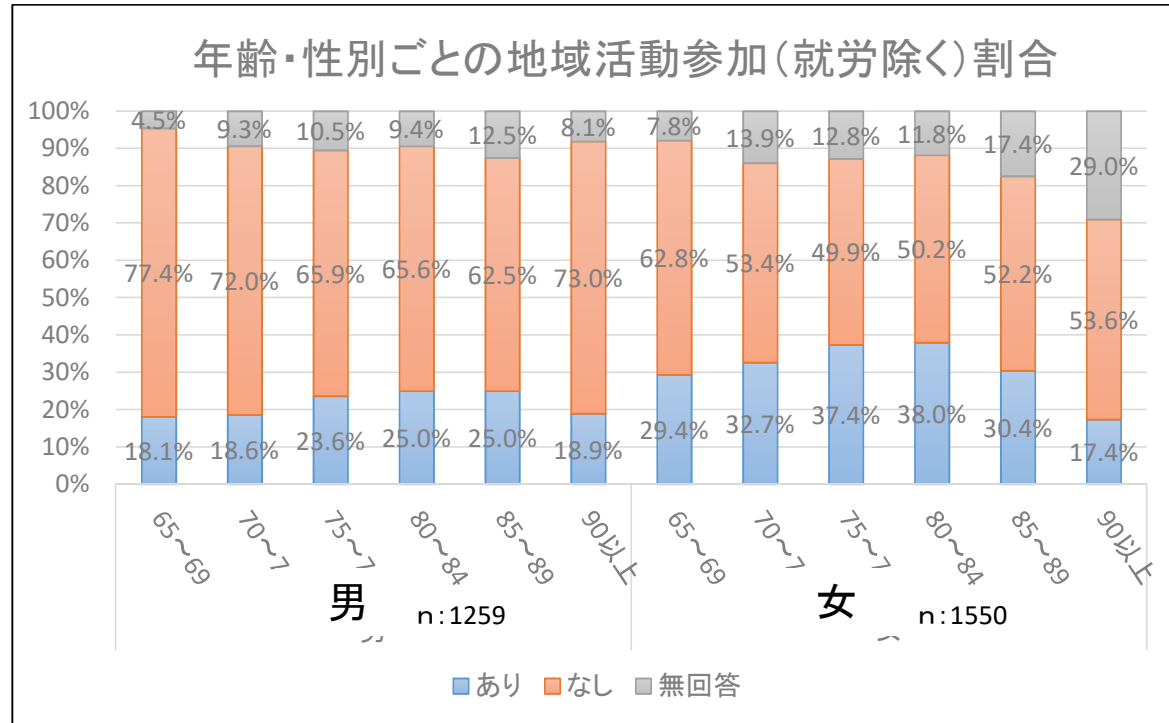
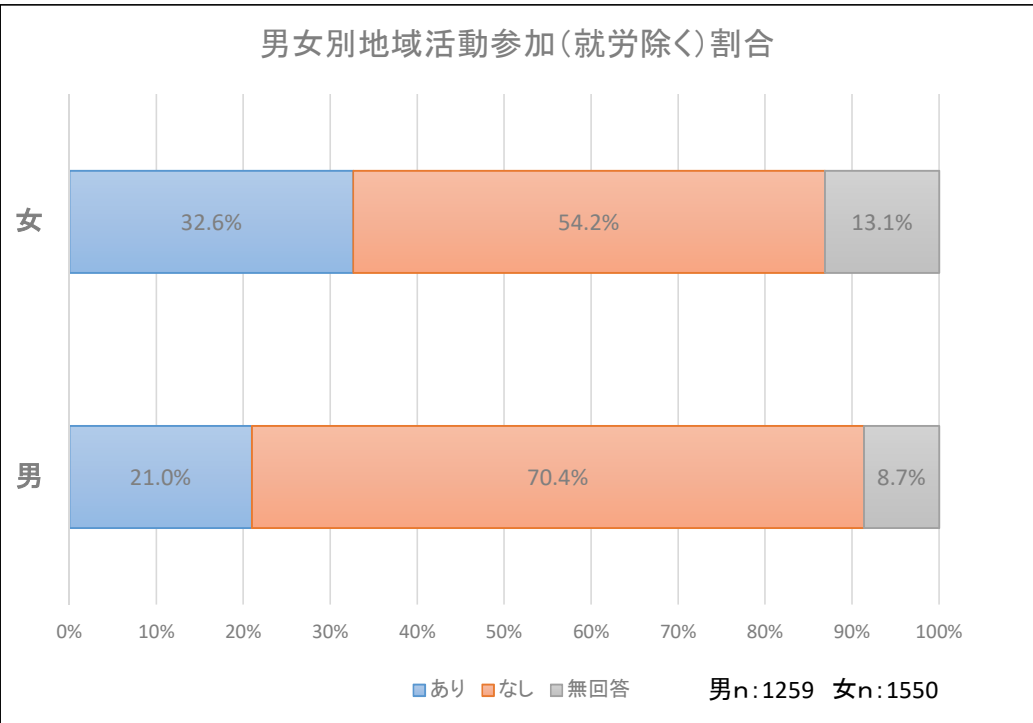
#### (2) 年齢層別地域活動参加割合



- ・仕事を含む地域活動参加割合は年齢が高くなるにしたがって低下する。
- ・仕事を除く地域活動参加割合は、80代が最も高くなる。
- ・仕事をしているうちは、地域活動参加ニーズが低く、仕事がなくなってから地域活動等により積極的に参加するようになると推測できる。

### 3. 調査結果の特徴的な傾向

#### (3) 地域活動男女別・年齢別参加割合



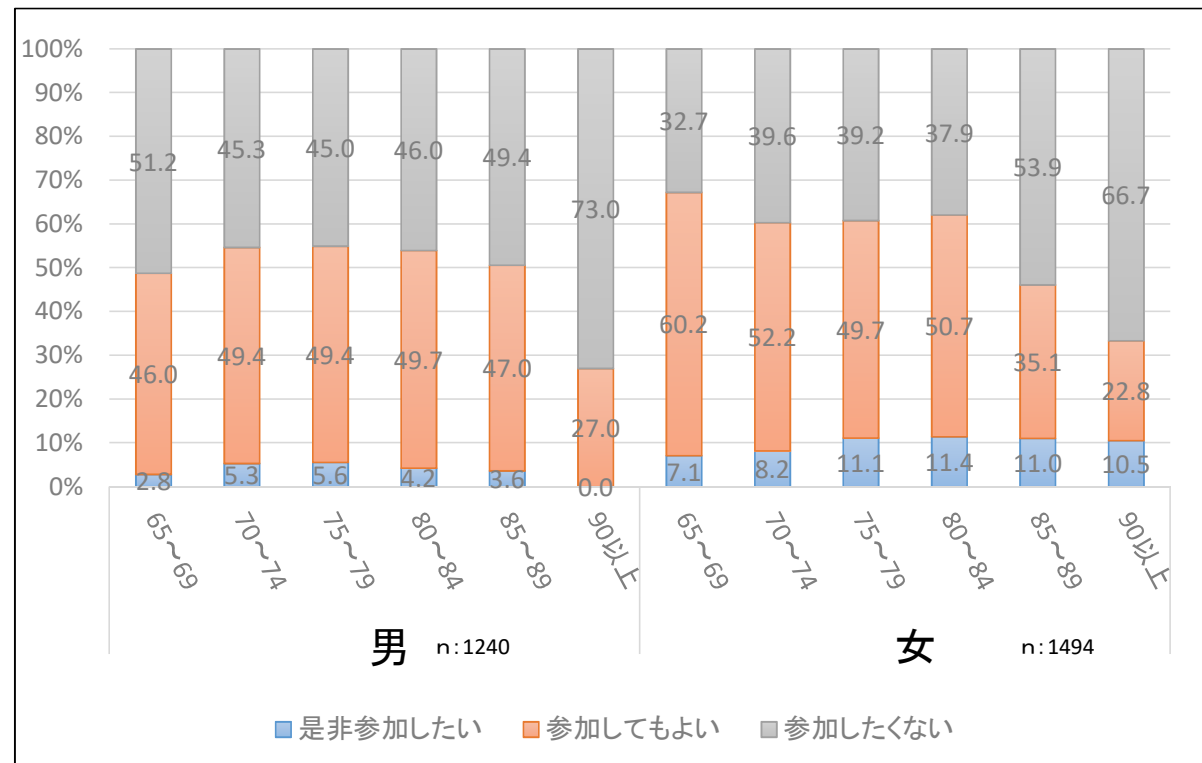
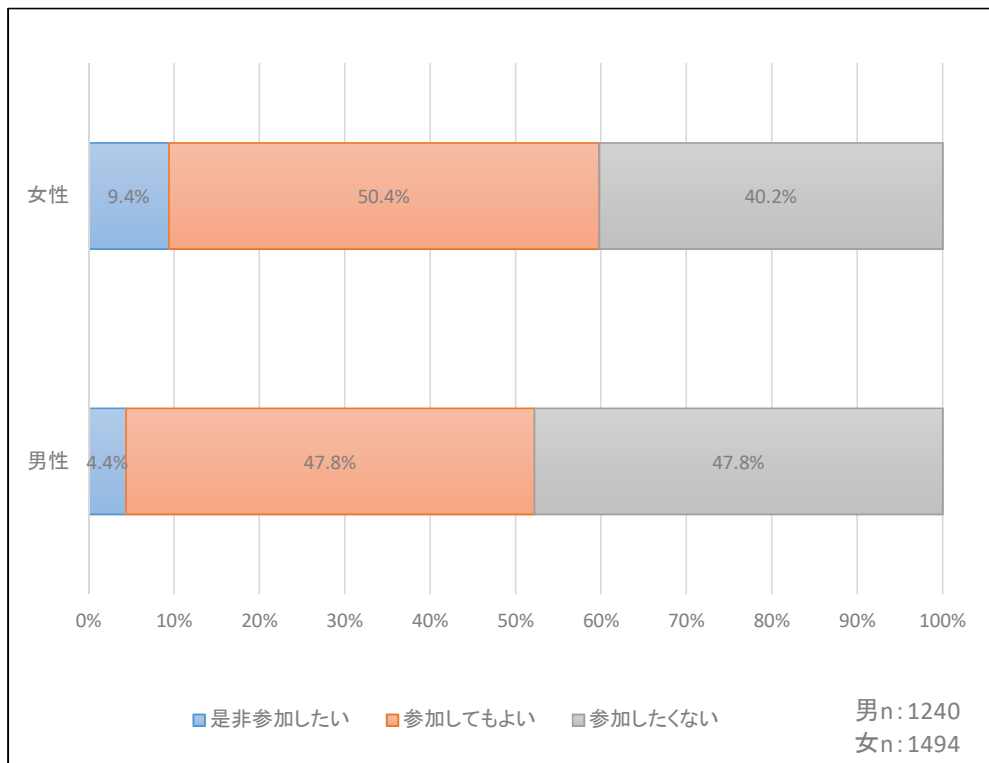
- 地域活動参加(就労除く)は女性が32.6%、男性が21.0%であり、女性の参加割合が高い。
- 全年代で女性の方が地域活動参加割合が高い。男性・女性の差が大きいのが75~85の年代である。



### 3. 調査結果の特徴的な傾向

#### (4) 健康づくり活動や趣味活動等への参加者としての参加意向のある方の特徴

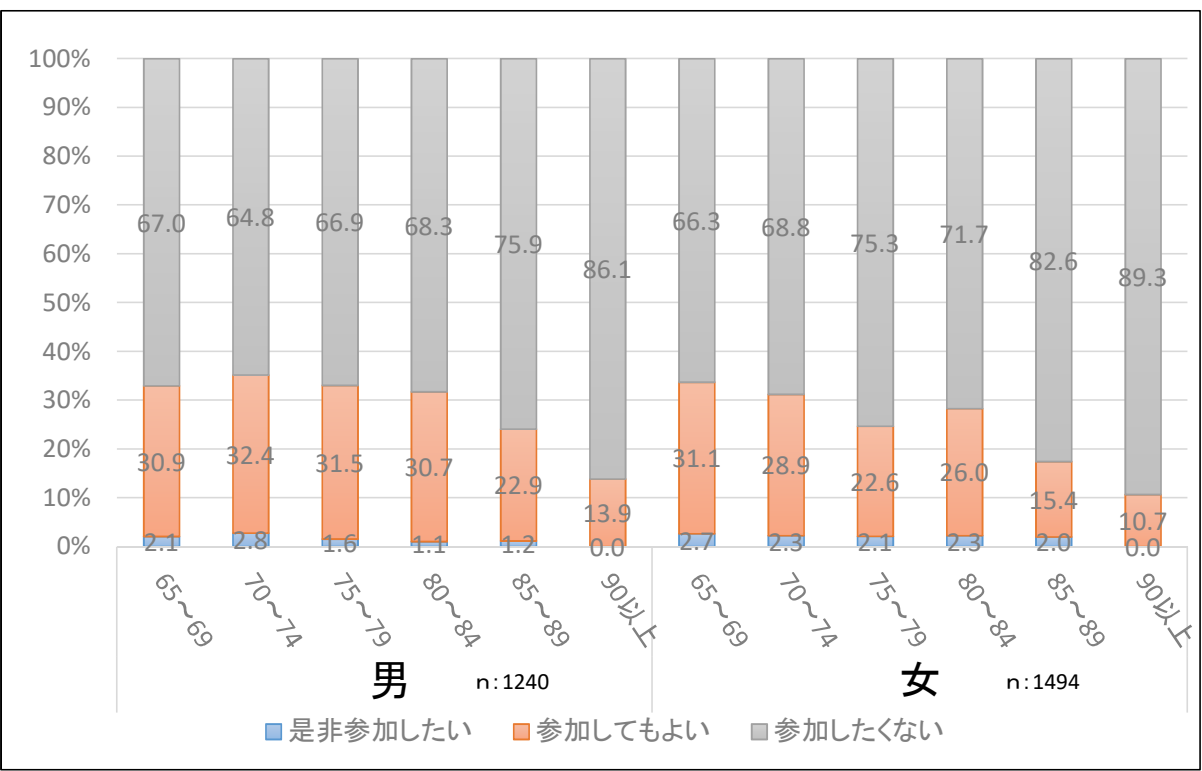
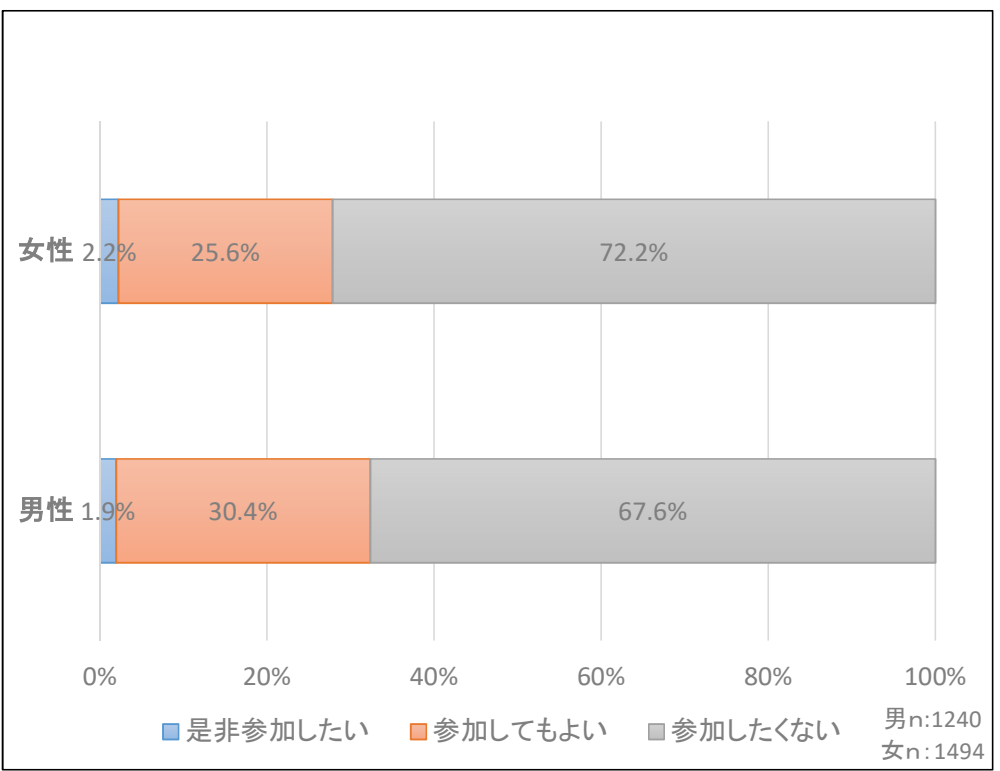
健康づくり活動や趣味活動等への参加者としての参加意向のある方の特徴として、男女別では、「是非参加したい」「参加してもよい」と回答された方が、女性が59.8%と男性より7.6%多い。各年齢層別にみると、男性は70～74歳、女性では65～69歳が最も多いが、その後は加齢とともに減少しているが、女性の場合は、「是非参加したい」の割合が75歳以上で約10%を維持している。



### 3. 調査結果の特徴的な傾向

#### (5) 健康づくり活動や趣味活動等への企画・運営(お世話役)としての参加意向のある方の特徴

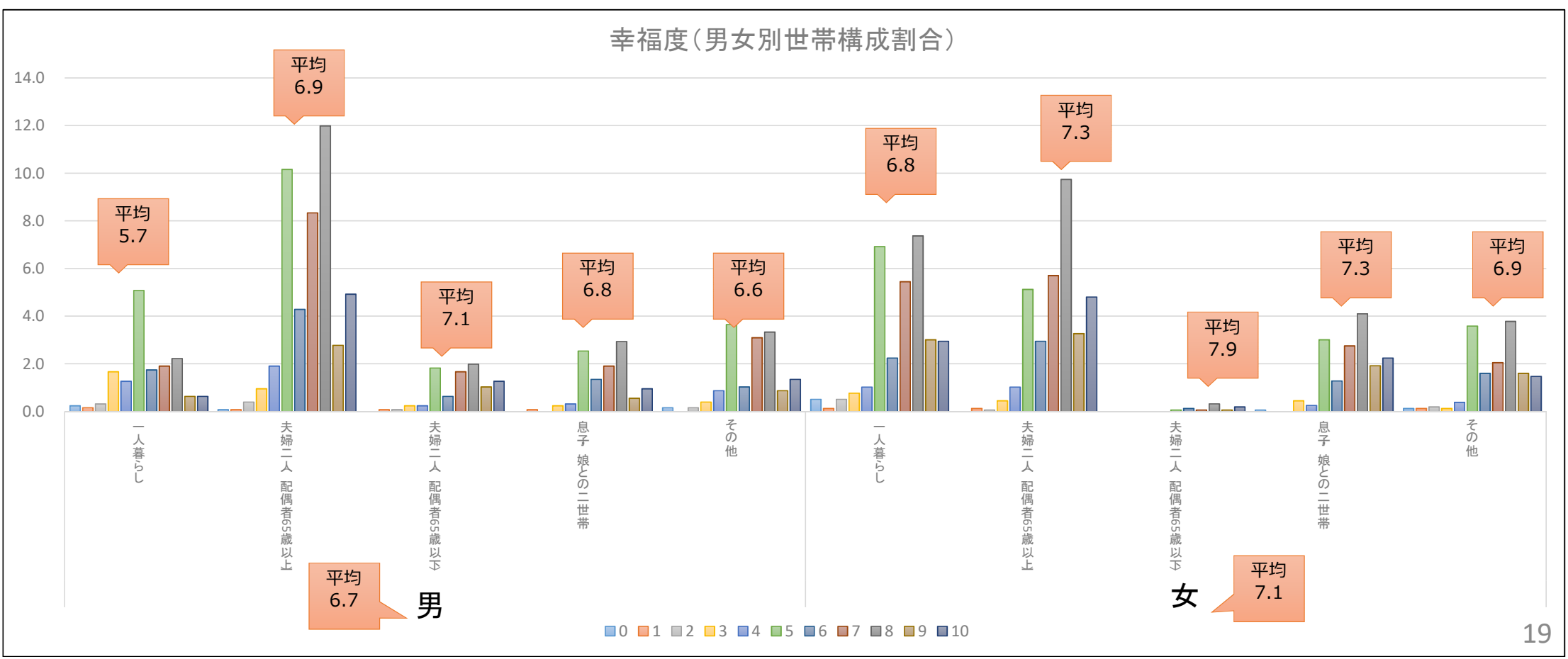
健康づくり活動や趣味活動等への企画・運営(お世話役)としての参加意向のある方の特徴としては、「是非参加したい」「参加してもよい」と回答した方が、男性が32.3%と女性より4.5%多い。年齢階層別にみると男性は70～74歳で若干多くなるが、75歳以上で減少する。女性は65～69歳が最も多く、男性と同様70歳以上で加齢とともに減少する。



### 3. 調査結果の特徴的な傾向

#### 4. 幸福度について

幸福度の平均値を男女別でみると、女性のほうが若干高い結果であり、世帯構成割合でみると、男女ともに夫婦二人暮らし世帯が最も点数が高かった。一人暮らしに焦点を当てると、女性は幸福度が平均6.8点であるのに対し、男性は平均5.7点と世帯構成別で最も低い結果となっている。



## 4. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について

### 考察

調査実施期間が、コロナウイルス感染拡大で様々な影響が出ていた時期と重なっており、今回のニーズ調査について、多少なりとも影響があったのではないかとと思われる。

#### ● 外出について

調査時期が新型コロナウイルス感染拡大による全国緊急事態宣言後でもあったこともあり、外出頻度等に大きく影響があるのではないかと想定されたが、実際の外出頻度には大きな影響はなかった。

しかしながら、「外出を控えている」人の割合が大幅に上昇(+23.7%)し、その理由の9割が新型コロナウイルスと回答されており、気持ちの面では新型コロナウイルスの影響があっている。

#### ● 認知症にかかる相談窓口の把握について

認知症の相談窓口についての周知度は7割程度の方が「知らない」と回答。また、家族や周囲の方に認知症の症状のある方がいるかとの質問でも8割以上の方が「いいえ」と回答しており、我が事として認識している方が少ないのではないかとと思われる。

今後、後期高齢者が増加することにより、認知症高齢者が増えることが想定されており、早期に適切な相談窓口につながるよう認知症ケアパスの活用、市民啓発などを積極的に実施していく必要がある。

#### ● 成年後見制度について

成年後見制度の周知度については、「聞いたことはあるが、内容は知らない(46.0%)」「聞いたことない(16%)」と62%の方が、制度内容について知らないと回答。また、制度の利用意向を聞くと「利用したくない」が67%と最も多く、その他の具体的な理由として、子どもや家族に任せるという回答が多く聞かれた。

## 4. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について

### 考察

- 低栄養リスクについて

低栄養リスクは、前回と同様全体の構成比1.7%と低い傾向ではあったが、低栄養リスクの方のうち、性別と世帯構成の割合でみた場合、女性は独居高齢者、男性は夫婦二人暮らしで配偶者が65歳以上の世帯で低栄養リスクが高いことから、女性が加齢により調理等の家事動作が出来なくなることで低栄養リスクが高まると考えられる。

- 地域活動種別と活動頻度

地域活動種別と活動頻度でみると、活動していない人が6~7割以上となっているが、健康づくり活動や趣味活動等への参加者としての参加意向では、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせて5割前後の方が参加意向を示している。

「参加してもよい」の人は、地域活動の参加状況からも自ら参加するのではなく、誰かに誘われたり、何かきっかけがないと参加につながらない可能性が高い。

- 健康づくり活動や趣味活動等への参加

健康づくり活動や趣味活動等への参加者としての参加意向のある方の男女別では女性が多い傾向にあるが、企画・運営(お世話役)としての参加意向については、男性のほうが多い傾向にある。男性は、参加者というよりは、運営者側など何か役割のある活動へ参加意向が高いことから、性別や年齢層別にニーズが異なり、個々のニーズに応じた地域活動への参加機会を作っていく必要がある。

## 4. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について

### 調査の課題

- 要介護度につながるリスクについて経年変化での検証ができない。  
本調査は、前回の調査内容と母数の抽出方法や地域包括支援センターの再編に伴い日常生活圏域が異なっている。そのため、要介護度につながるリスクを経年変化で検証することが十分できない。  
今後、同項目にて調査を実施することで、当該地域でのリスク割合の変化をみる事が可能になる。